

夏休みの朝はこれで始まった

久原・松仙小校庭

長い夏休みの前半十日、後半十日に分けて、毎年実施されるラジオ体操の会。今年も延べ四千二百余名の参加者で元気に行われました。PTA役員と久が原地区体育指導員によるさわやか行事は、もう十年目になります。長い休みの始めと終わりに、規則正しい生活を送らせる為に、大変役立っていると評判です。子供もお年寄りも入り交っての体操は微笑ましい光景です。



みんなさわやか イッチ ニ サン

在郷の守り神について

昔から、どこの在にいつても、民衆から敬い親しまれる神さまのお宮があります。

◎八幡神社は全国に二万五千社もあるといわれ、神さまのご託宣(お告げ)によってまつりごとが行われてきたとのことでありました。八幡神社のおこりは、九州の宇佐神宮(宇佐八幡)が皇室の崇敬をうけ、奈良時代から平安時代に移り、京都の清

夏空に舞う白球

ガンバレ少年野球

調布地区の少年野球大会は青少年の健全育成のため、青少年対策委員会の事業の一環としてはじめられました。

今年の大会は、八月十九日から四日間、東調布公園野球場で六地区代表により行われました。

久が原地区からは、小学生が「ガッツ久が原」、中学生が「大森第十中学校」の2チームが出場しました。

優勝こそ逃したものの猛暑の中、ご父兄をはじめ関係者の激励のもと一生懸命プレーする選手の様子は感動的でこの事業に携わって良かったと、改めてより一層子供達のために頑張らねばと思われました。

来年の三十回大会をめざして各チーム共頑張りつつあると思います。どうぞ調布地区少年野球大会にご声援をお願いいたします。

(斉藤 登)



水八幡宮、また鎌倉の八幡宮などの創立を見るに至り、次第に全国津々浦々に広く祀られるようになったといわれます。

八幡さまは武人の神であると同時に広く地域の民衆の守り神として崇められ、神功皇后の信仰に由来して、母の慈愛と、子供の成長を願う民衆の共鳴を得るもの大きといわれています。

◎稲荷の神
稲荷さまは、「稲生り」生活と水は切っても切れな

・東久が原商米会
七月十二、十三日、近くの駐車場広場で行われました。まつり提灯で飾られたやぐらを中心に、ゆかた姿の踊り子達で踊りの輪が大きく広がりました。



ユカタ姿も華やかに 盆踊り大会

・久が原銀座商店街
昭和五十三年から続けている盆踊りが今年も七月二十七日、二十八日の両日行われ、人数は例年を上回る賑わいでした。なお頂いた寄付金から島原雲仙への義援金を朝日新聞社に寄託しました。

「稲成り」の意味で、神様が稲(荷)を背負っている姿を「稲荷」と表したもので、稲は食物の米であるところから宇迦之御魂神と稲えあがめているわけですから、従って農業の神でありますので、米一粒が何倍にも増え、広く殖産できるようにとあがめ、商売繁盛を願う現在ではすべての職業を持つ人の信仰を集めております。



残念、綱引き入賞ならず

今年も十月十日、「体育の日」に大田区体育館を主会場に、第八回区民スポーツまつりが盛大に行われました。まつりの呼びもの「綱引き」で、我が久が原チームは、善戦及ばず、蒲田西・馬込両チームに惜敗し、決勝進出はなりませんでしたが、関係者の皆さん、お疲れさまでした。

受賞おめでとうございます

◎三木会長永年在職で受賞
久が原地区自治会連合会会長として活躍中の三木兼吉氏は、会長・副会長として二十年以上在職し、区政並びに地域社会の発展に貢献された業績に対し、区長より感謝状が授与されました。

◎交通安全功労者に感謝状
平成三年度の交通安全功労者として、久が原地区から、
・泰王建設株式会社
(久が原一十二一十)
・三木秀雄氏
(久が原二一八一六)
・醍醐敏之氏
(久が原三一四一十五)

(久が原三一四一十五)の方々が感謝状を受けられました。おめでとうございます。



受賞おめでとうございます

◎青少年健全育成功労者で受賞
青少年対策久が原地区委員会副会長の富田稔氏は、青少年健全育成の為の長年の積極的な活動に対し、都知事より表彰されました。
なお同氏は大田区青少年委員会会長としても活躍中です。

委員から皆様へ
十月は成人病検診受診強調月間です。
成人病とは、四十歳を過ぎた頃から、老年期にかけて多く見られる病気の総称で、主として高血圧、心疾患、糖尿病などがあります。
予防方法は、日常生活習慣を健康的なものに心がけると効果がありますが、その上で、病気を早期に発見する心

掛けが大切です。
区内在住で四十歳以上の方で、職場等で健康審査を受けていない方は、無料で健康審査を受けることが出来ます。
詳しいことは、左記へ問合わせ下さい。
◎衛生部保健課
☎(三七七三)五一一一
◎雪谷保健所予防課
☎(3726)4145